

W I L C O M M

添付ファイル名称の決定方法

MAL003 (Last Update : 2002/6/7)

WilComm AS400 V7.15

© Copyright 2000

K.I.S.S. Inc.



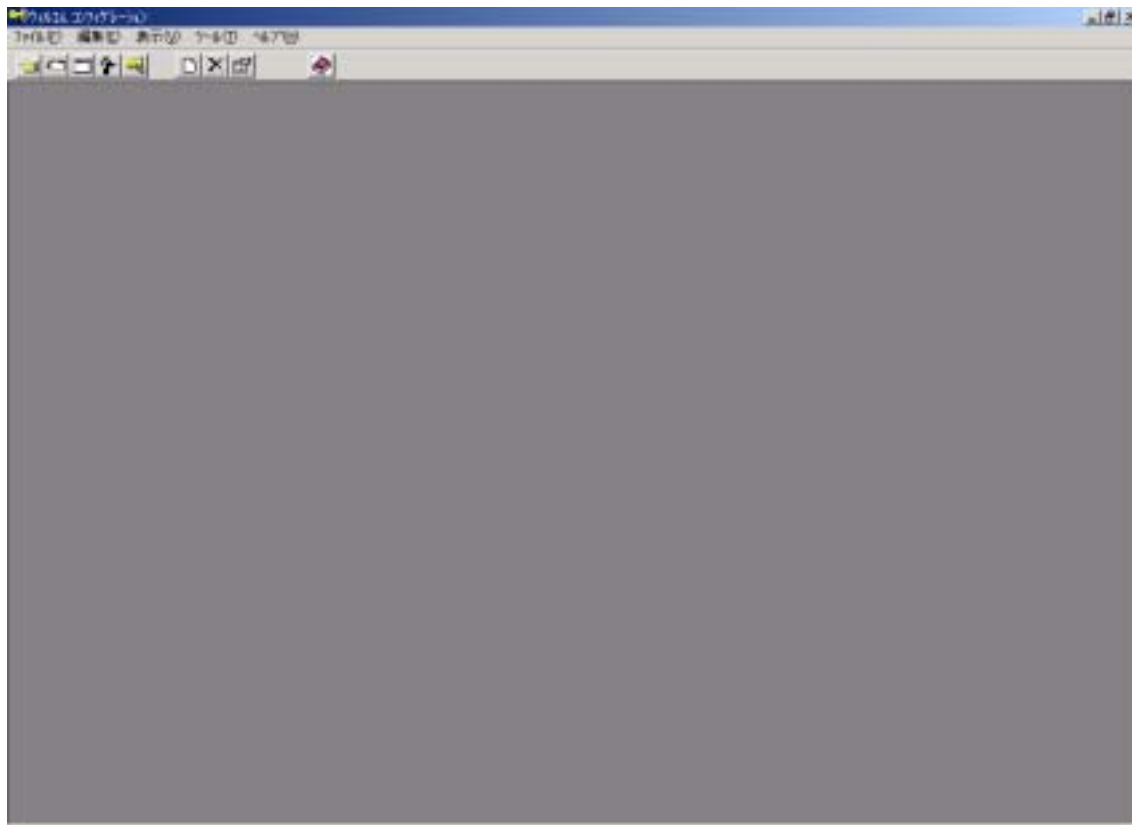
本解説書は、ウィルメールを使用してメールを配信する際の添付ファイル（PDF / CSV）名称を決定する方法について述べています。

目 次

1. 添付ファイル名を決定する WilComm Config	3 頁
2. デフォルト値について（スプール属性で名称決定）	6 頁
3. スプール・データを添付ファイル名称にする	8 頁
4. ウィルコムが決定するシーケンシャルNoを添付ファイル名称にする	11 頁
5. 注意事項	12 頁

1. 添付ファイル名を決定する WilComm Config

Wilcomm Config を起動します。



ツールバーの「表示」→「ピックアップグループ」を選択します。

ピックアップグループ編集

ピックアップグループ: AS400

ファイルの取り出し

ピックアップディレクトリ: []

ファイル名: **

ファイル形式: トランザクション ファイルには、アドレス パラメータとスプール ファイル属性が記述されています 詳細..

参照: スプール ファイル属性 詳細..

ホストからメールに添付されるファイル

ピックアップディレクトリ: []

ホストへ送る実行結果

☒ 以下のディレクトリへ、実行結果のファイルを作成

[]

ファイル拡張子: [] 詳細..

ウィルコム サービス用 送信メールの通知

WilPrint: ☐ 失敗のみ ☐ すべて ☒ 無し WilTelex: ☐ 失敗のみ ☐ すべて ☒ 無し

WilFax: ☐ 失敗のみ ☐ すべて ☒ 無し WilComtext: ☐ 失敗のみ ☐ すべて ☒ 無し

WilMail: ☐ 失敗のみ ☐ すべて ☒ 無し

メール通知用 メールアドレス

メールアドレスの解決方法: 常に通知メッセージを定義されたメールアドレスへ送信 詳細..

ローカル作業ディレクトリ: AS400

OK キャンセル

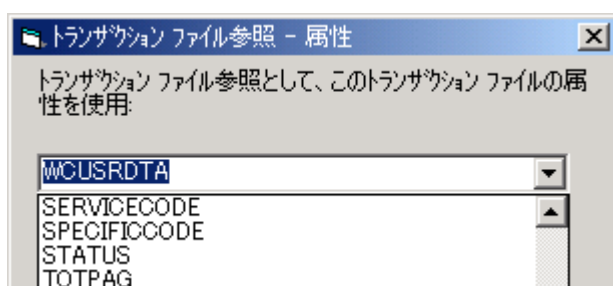
ピックアップグループ編集画面が表示されます。

赤枠部分の設定で、添付ファイルの名称は決定します。

2. デフォルト値について（スプール属性で名称決定）

デフォルト値 = 「スプールファイル属性」です。横の「詳細」ボタンを押します。

これは、「スプールファイル属性」のユーザーデータの値を添付ファイルの名称に使用することを意味しています。



他のスプールファイル属性を指定することも可能です。

一般的なものは、「FILE」＝「スプールファイル名」、「FORMTYPE」＝「用紙タイプ」、「WCUSRDTA」＝「ユーザーデータ」かも知れません。

スプールファイルを生成しているアプリケーション・プログラムで、スプール属性をコントロールすることで、添付ファイル名称を決定することが可能です。

（例）請求書であることと、その発行日付を添付ファイル名称で明らかにしたい場合
請求書スプールを生成するプログラムで、生成したスプール属性の用紙タイプに「請求 9999」とセットするようにします。（9999 は日付）

上記設定で「FORMTYPE」を選択しておけば、メール配信される請求書の添付ファイル名称は「請求 0601.pdf」のようになります。6 月 1 日の請求書であることが添付ファイル名称で明らかになります。

（注）PC ファイル名称として使用できる文字には制限があります。Windows 上でファイル名称として使用できる文字をご使用ください。

3. スプール・データを添付ファイル名称にする

スプールファイル属性を使用せずに、スプールに印字された文字を使用したい場合は、以下のように設定してください。

ピックアップグループ収集

ピックアップグループ: AS400

ファイルの取り出し

ピックアップディレクトリ: E#Wilcomm

ファイル名: *.*

ファイル形式: トランザクションファイルには、アドレス、パラメータとスプールファイル属性が記述されています

参照: スプールファイル属性

ホストからメールに添付されるファイル

ピックアップディレクトリ: E#Wilcomm

ホストへ送る実行結果

☒ 以下のディレクトリへ、実行結果のファイルを作成

ファイル拡張子: E#Wilcomm#RESULTS

ウィルコム サービス用 送信メールの通知

WilPrint: ☐ 失敗のみ ☐ すべて ☒ 無し

WilFax: ☐ 失敗のみ ☐ すべて ☒ 無し

WilMail: ☐ 失敗のみ ☐ すべて ☒ 無し

WilTelex: ☐ 失敗のみ ☐ すべて ☒ 無し

WilComtext: ☐ 失敗のみ ☐ すべて ☒ 無し

メール通知用 メールアドレス

メールアドレスの解決方法: 常に通知メッセージを定義されたメールアドレスへ送信

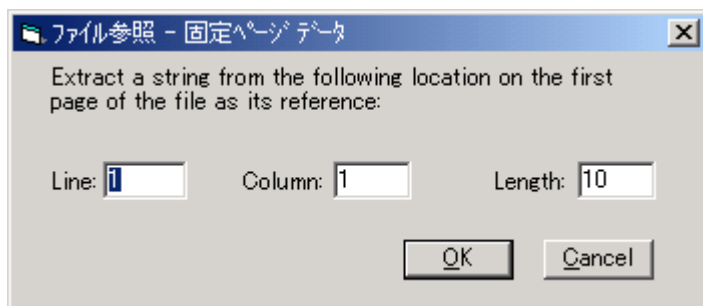
ローカル作業ディレクトリ: AS400

OK キャンセル

「文字列は、・・・・・・」を選択してください。

決まった位置に印字されているのであれば、「文字列は、先頭ページの決まった位置」選択し、どこにあるか不確定の場合は「文字列は、先頭ページ内で位置は浮動」を選択します。いずれかを選択して、横の「詳細」ボタンを押して読み取り位置の指定をしてください。

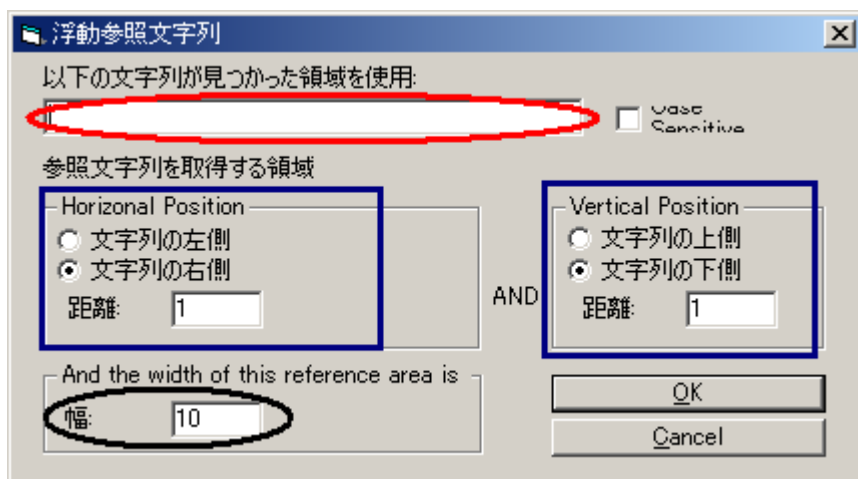
「文字列は、先頭ページの決まった位置」の場合、



行、スタート桁、長さを指定してください。

上記設定では、スプールの先頭ページの一行目・一桁目から 10 バイト分の文字列を添付ファイル名称として使用することになります。

「文字列は、先頭ページ内で位置は浮動」の場合、



スプールの先頭ページに印字されている文字の「どの部分」を添付ファイル名称にするかを、ここで決定します。

赤枠部分にスプールデータ内に検索したい文字をセットします。

青枠部分に検索した文字と実際に添付ファイル名称にしたい文字列との位置関係をセットします。検索した文字から左右何バイト目からか、上下の位置関係は何ラインかを設定します。上下の距離 = 0 は検索した文字列と同一行であることを意味します。

黒枠部分に青枠部で指定した位置から何バイト分を添付ファイル名称にするかを設定します。

(例) スプールの先頭ページに「Title : 注文書 9999_99_99」と印字されていると仮定します。(9999_99_99 は日付) 必ず印字位置が決まっている場合は「**文字列は、先頭ページの決まった位置**」で設定できますが、スプールの生成タイミング等で、印字位置が先頭ページ内で一行目だったり二行目だったりする場合があることを仮定します。最終的には「注文書 9999_99_99」を添付ファイル名称にしたい場合を考えます。

その場合、「Title :」の文字を検索に使用します。

この設定で、スプールファイル内の最初のページの指定位置から取得した文字列で添付ファイル名称を決定することになります。**赤枠部**に「Title :」とセットします。

「Title :」からして「注文書」の位置は、「T」を起点に右方向に8バイト目からスタートしています。上下関係は同一行です。**青枠部**は右側 / 8、上 or 下 / 0 とセットします。

「注文書 9999_99_99」は17バイトですので、**黒枠部**は17とセットします。

或いは次のような設定も可能です。

検索文字を「注文書」として、**赤枠部**に「注文書」とセットします。

この場合、「注文書」という文字を検索して、その「注」の文字から添付ファイル名に指定したいわけですから、検索した文字位置の起点が添付ファイル名となるスタート位置になります。その場合、**青枠部**は「左 or 右 / 0」「上 or 下 / 0」となります。

黒枠部は17です。

こうすることで、添付ファイル名は「注文書 2002_06_06.pdf」のようになります。

スプール属性を添付ファイル名称にする場合は、桁数制限がありますが、スプール・データを使用した場合は、その制約から解放されます。

(注) PC ファイル名称として使用できる文字には制限があります。Windows 上でファイル名称として使用できる文字をご使用ください。

4. ウィルコムが決定するシーケンシャルNoを添付ファイル名称にする

上記のように「ファイル」を選択します。

S0000001～S9999999 が添付ファイル名称に使用され、「S0011475.pdf」のようになります。

5. 注意事項

添付ファイル名称に関する設定は、全ての配信に適用されます。

例えば「請求書」や「注文書」等々、複数種類の配信をウィルコムで行っている場合、2～4までの設定は、どの配信にも適用されます。

つまり、「請求書」の場合はスプール属性を使用し、「注文書」の場合はスプール・データを使用することはできません。

添付ファイル名称の決定に関する設定は、まず2～4のうち、どの方法を採用するかの一ルールを決めてから行ってください。